



むろけん

JOL.19



RUN

北海道開発局

2014.6.9

～ 室蘭開発建設部の営業カバンの中味～

【発行・編集責任者】

〒051-8524 室蘭市入江町1番地14

北海道開発局室蘭開発建設部

広報官 0143-25-7051

地域振興対策官 0143-25-7053



直轄海岸保全整備事業

胆振海岸における海岸侵食対策・越波対策

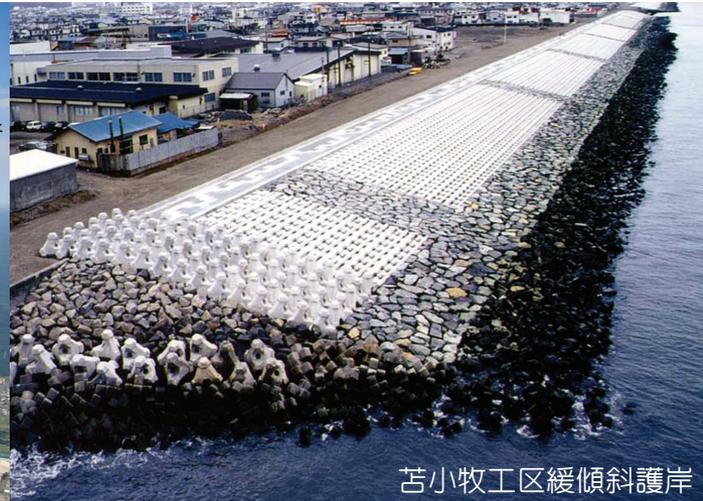
胆振海岸では昭和40年代から急速に海岸侵食が進み、直立護岸の倒壊、越波による住宅等の被害が多発しました。そこで被害を防ぐための抜本的対策が必要となり、北海道開発局は道内唯一の直轄海岸保全施設整備事業に着手し海岸の侵食や越波対策を実施。住宅、各種施設、国道、JR等への被害を軽減し安全性の確保を図ってきました。



越波の状況



苫小牧工区人工リーフ



苫小牧工区緩傾斜護岸



白老工区人工リーフ



リーフに生息する水産生物（ウニ、ナマコ）



住民主体による清掃活動

胆振海岸保全の概要

胆振海岸の整備は、人工リーフや緩傾斜護岸等による海岸の**防護機能の向上**と、その整備にあたり海岸が本来有する生物の良好な生育に配慮した**環境面の向上**、地域との連携により憩い・交流の場を創出する**利用面の向上**の3大テーマを掲げ事業を進めています。

1 防護機能の向上

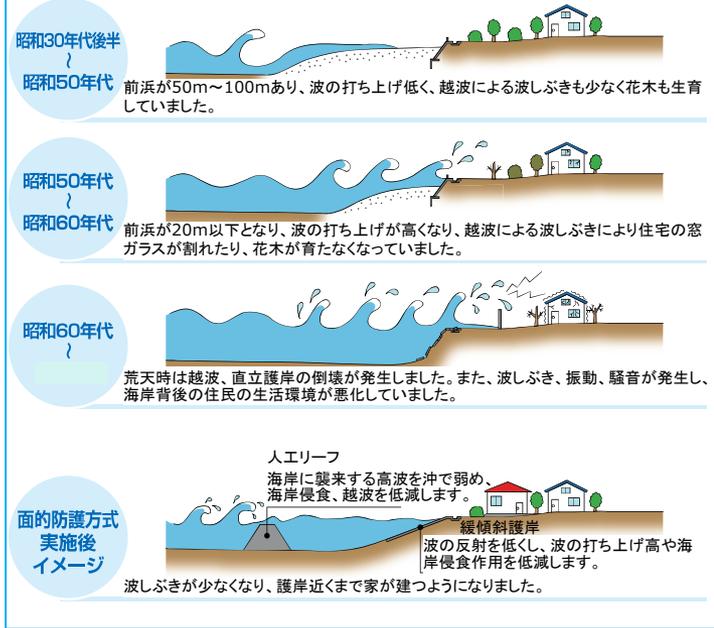
砂浜が広がった頃(昭和50年頃)



砂浜が消失(平成9年)



胆振海岸における「面的防護方式」



①人工リーフ

人工リーフは、荒天時の波の勢いを沖合で弱め、海岸侵食や越波を低減し海浜の安定を図る役割をします。

●人工リーフ設置前(平成12年)



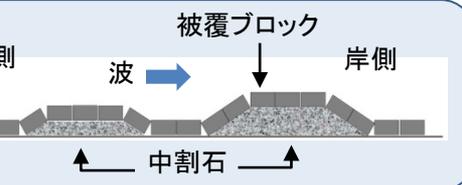
●人工リーフ設置後(平成25年)



☆平成元年度からの人工リーフの整備により、周辺海浜地形が安定し、砂浜が再生していることが確認されています。

タンデム型人工リーフ(コスト削減)

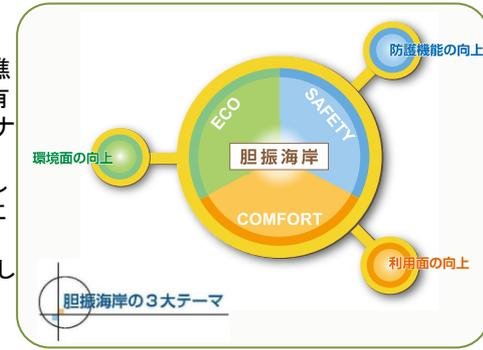
人工リーフを二山とし沖側の低いリーフで波を粉碎し、岸側の高いリーフに衝突させ波の力を弱める。施工断面積を小さくすることで、「コスト削減」を実現。



2 環境面の向上



人工リーフには天然岩礁と類似する生物環境を有しており、コンブ、ウニ、ナマコ、カジカ、クロソイ等多くの水産生物が生息しています。また、リーフに使用しているブロックの溝は生物の生息に配慮しています。



②緩傾斜護岸



緩傾斜護岸は、波の反射を低くし海岸侵食、波の打ち上げ高、越波量を低減させます。また、騒音・振動レベルが低下し、地域住民の生活環境改善効果もあります。

写真奥側の直立護岸は波の打ち上げが高い

3 利用面の向上



胆振海岸整備により、海浜周辺の親水空間が形成され、地域住民、観光客を含めた多くの利用者が訪れ、憩いの場やレクリエーションに利用されています。

③養浜



養浜とは、人工的に砂を供給し砂浜を造成することです。海岸線付近に設けた突堤の間に養浜することによって、波の打ち上げ高、越波量を低減させます。ヨコスト湿原の前浜は、「エコ・コースト事業」等の指定を受け、自然環境と調和した整備が求められています。